

平成30年度 事業計画書

衣料管理士(TA)関係

◆衣料管理士(TA)資格の認定

衣料管理士資格は、協会認定大学で協会認定・登録カリキュラムを履修して卒業した学生に交付される。

■日程

平成30年11月初旬	TA認定証交付申請要領の送付
平成31年2月上旬	TA認定証交付申請書の提出締切
平成31年3月31日	TA認定証交付日

◆高校生へのTA広報

◇DVD「ファッションビジネスと衣料管理士」、TAポスター、TAパンフレットによる高校生へのTA広報

- 全国約1300校の高等学校の家庭科教員へ送付する。
- 会員大学のオープンキャンパスなどで活用する。

◇旺文社との連携

- 大学進学応援サイト「パスナビ」を通じたTA広報

◇高校の関係組織との連携

- 全国高等学校長協会家庭部会（校長の組織）
 - ・『家庭部会報』にTA広告掲載
 - ・会員名簿にTA広告掲載
 - ・関係の会合でTAポスター・パンフレット配布
- 全国高等学校家庭クラブ連盟（高校生・家庭科教員の組織）
 - ・高校生や教員が購読する『Future Homemakers of Japan』にTA広告掲載
 - ・家庭クラブ研究発表大会の資料にTA広告掲載

◆業界へのTA広報

- 業界向けTAパンフレットを製作し関係業界へ広報

◆大学新生へのTA広報

◇大学正会員の新生生に対するTA制度の広報

- 『新生生のための衣料管理士ハンドブック』を製作し会員大学へ配布

◆TA養成科目のテキスト出版

- 『アパレル設計・生産実習』テキストの編集・出版
- 『染色加工学』テキスト出版の検討
- 既存テキストの改訂版の出版

◆大学正会員とファッション産業界との産学交流事業

◇繊維ファッション産業協議会との連携

◆教員のための研修事業

◇消費科学セミナーの開催

開催地：東京

時 期：秋

◇TA養成教員のブラッシュ・アップ講座の開催

訪問地：遠州地区の企業等の見学・研修

時 期：平成31年3月(予定)

◆調査事業

＝衣料の使用実態調査＝

◇平成29年度実施分データの解析と報告書の刊行

調査対象者：学生本人 28校 984人

依 頼 日：平成29年11月21日

回 収：平成30年2月

報告書刊行：平成31年1月

◇平成30年度調査の検討・実施

調査対象者：学生本人、その父母

依 頼 時期：平成30年秋

調査の実施：平成30年冬休み

回 収：平成31年2月

＝トピックス調査＝

◇平成29年度のトピックス調査の解析と報告書の刊行

調査テーマ：ファッションにおけるネットとSNSの利用に関する調査

調査対象者：学生本人 28校 984人

依 頼 日：平成29年11月21日

回 収：平成30年2月

報告書刊行：平成30年秋

◇平成30年度のトピックス調査の検討・実施

調査対象者：学生本人、その父母

依 頼 時期：平成30年秋

調査の実施：平成30年冬休み

回 収：平成31年2月

＝衣料管理士の就職状況調査＝

調査対象者：平成30年3月に卒業した衣料管理士資格取得者

依 頼：平成30年4月

◆大学正会員関係

◇年次報告書の審査

報告書提出：6月末日

審査：7月下旬～8月上旬

結果の通知：9月

◇主務教員会議の開催

開催：12月上旬

◆『衣料管理士の集い』の活動への支援

◇会員相互の情報交換

◇自己研さん活動

◆TA交流プロジェクトチームの活動

■目的：衣料管理士を目指す学生、高校生、現場で活躍する衣料管理士、衣料管理士養成大学が交流する場を作り、学生、高校生の衣料管理士取得のモチベーションを高め衣料管理士の認知度を高める。

■発足：平成29年7月4日

■メンバー：衣料管理士の集い（関東）幹事
協会常任委員（衣料管理士資格者）

■現状：衣料管理士を目指す学生、高校生のうち、最初に衣料管理士を目指す学生に衣料管理士を周知する活動から着手する。

まずは、学生の関心・志向などを把握するために、「衣料管理士の認知度」、「卒業後に希望する業界・業種・職種」、「ファッションへの関心」、「現場のTAとの交流を希望するか」などについて、学生にアンケートを実施した。

このアンケート結果を踏まえ、今年度実施できる大学より担当を決め開催する。

繊維製品品質管理士 (TES) 関係

◆繊維製品品質管理士(TES)資格の認定・登録

◇新規登録試験 (第37回) の実施

□ 日 程

- ・要項の公示 平成30年4月1日
- ・出願の受付 平成30年5月1日～5月20日
- ・試験日 平成30年7月15日(日)
- ・合否の判定 平成30年9月上・中旬
- ・登録申請受付 平成30年9月下旬～10月上旬
- ・登録日 平成30年11月1日

□ 試験場

- ・東京試験場 文化学園大学
- ・名古屋試験場 椋山女学園大学
- ・関西試験場 京都女子大学
- ・福井試験場 福井大学
- ・倉敷試験場 倉敷ファッションセンター・倉敷市児島産業振興センター
- ・福岡試験場 福岡商工会議所

◇登録更新試験の実施

□ 対 象

第2期・第7期・第12期・第17期・第22期・第27期・第32期TES = 1, 397人

[内訳]

- ◆第2期・第7期・第12期・第17期・第22期(登録更新試験免除: 552人)
- ◆第27期・第32期(登録更新試験受験: 845人)

□ 日 程

- ・試験要領通知 平成30年3月中旬
- ・代替措置受付 平成30年4月1日～同15日
- ・同可否の通知 平成30年4月下旬
- ・試験提出締切 平成30年6月末日
- ・合否の判定 平成30年9月上・中旬
- ・更新申請受付 平成30年9月下旬～10月上旬
- ・登録日 平成30年11月1日

◆苦情衣料品収集プロジェクトチームの活動

- 目的：TES会各支部、検査団体、クリーニング研究団体の力を借りて消費者苦情が発生した衣料品を収集する。収集した苦情衣料品は『繊維製品の品質苦情ガイドー消費者苦情の原因究明・再発防止策ー』の改訂に使用する。

(J I S L 0001の表示がついた苦情情報を掲載)

将来的には繊維製品の品質苦情データベースを作って業界に役立てる。

- 発足：平成29年12月20日

- メンバー：TES会東日本支部

TES会西日本支部

TES会中部支部

TES会北陸支部

TES会中国支部

ボーケン品質評価機構

カケンテストセンター

日本繊維製品品質技術センター

繊維商品めんてなんす研究会（関西）

◆TES制度の広報

- TESポスター・パンフレットを団体・企業・行政機関等へ送付してTES制度の広報依頼

- ・繊維関係の業界団体・検査団体
- ・繊維業界の有力企業
- ・ネット企業
- ・国民生活センター、消費者センター、繊維工業試験場など行政機関
- ・教育機関（大学・専門学校他）

- 繊維専門紙ほかへTES試験実施要項を掲載して広報

◆TES会活動への支援

- ◇TES会東日本・中部・西日本・北陸・中国支部、TES九州会への支援

- ・TESによる行政連携（経済産業省生活製品課、消費者庁）
- ・TES相互の情報交換
- ・勉強会、研究会、見学会など自己研鑽活動
- ・活動成果の社会・業界還元

- ◇『TES会通信』の発行

TES会各支部で行う行事の開催案内・結果報告を掲載。偶数月に発行。

その他の活動

◆会報の発行

- ・第180号（4月1日発行）
- ・第181号（7月1日発行）
- ・第182号（10月1日発行）
- ・第183号（1月1日発行）

◆『ミニ情報』の発行

発行：偶数月の1日

購読資格：本協会会員

内容：行政情報 [経済産業省、消費者庁、文部科学省等の情報]
抄録情報 [関係分野の最新動向・技術開発状況等の情報]
行事情報 [学会、団体等の研修会、セミナー、行事等の情報]

◆関係団体との連携

■大学間連携(連携大学:信州大学、福井大学、京都工芸繊維大学)共同教育推進事業『繊維系大学連合による次世代繊維・ファイバー工学分野の人材育成』にステークホルダーとして参画、運営委員の派遣

(運営委員として堀井二三男委員 任期：平成32年3月31日度まで)

■日本繊維製品・クリーニング協議会へ理事派遣

(大橋正男常任委員 任期：平成31年3月まで)

■繊維の製造・加工・流通関係団体(全国・地方)、検査機関等との連携

◆協会ホームページの充実